

29年12月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成29年 12月1日～ 29年12月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
12月分の回答企業数は40社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)−(「減少」の評価を行った回答の割合)×2−(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/12月	30/1月	2月
仕入動向	国産材	1.7	△ 8.3	△ 12.5
	外材	△ 1.4	△ 8.6	△ 13.6
販売動向	国産材	6.9	△ 15.5	△ 11.1
	外材	0.0	△ 8.8	0.0
在庫動向	国産材	△ 1.7	△ 3.3	△ 5.4
	外材	△ 1.4	△ 1.4	△ 7.6

・国産材の仕入動向は12月の増加から1月、2月は減少に。外材は3カ月連続減少。

・国産材の販売動向は12月の増加から1月、2月は減少に。外材は12月の横ばいから1月は減少、2月は再び横ばいに。

・国産材、外材の在庫動向とも3カ月連続減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	29/12月	30/1月	2月
スギ正角(グリーン)	7.1	4.8	5.3
スギ正角(KD)	18.2	4.5	5.0
ヒノキ正角	20.5	6.8	4.8
ヒノキ土台角	23.9	8.7	9.5
米ツガ正角(現地挽)	27.5	22.5	12.5
米ツガ防腐土台角	25.0	15.0	12.5
米ツガ割物(現地挽)	35.7	21.4	14.3
米マツ平角	36.5	32.7	22.9
北洋アカマツタルキ(現地挽)	7.1	7.1	9.6
ホワイトウッド集成管柱	9.6	5.8	2.1
レッドウッド集成平角	26.0	20.0	10.4
型枠合板(輸入)	29.2	37.5	27.3
針葉樹構造用合板	18.2	16.7	15.8
針葉樹構造用合板(厚物)	19.0	16.7	15.8

・スギ正角の価格動向はグリーン材、KD材とも保合。

・ヒノキは正角、土台角とも保合。

・米ツガは正角(現地挽き)、防腐土台角、割物(現地挽き)とも強保合。

・米マツ平角も強保合。

・北洋アカマツタルキ(現地挽き)は保合。

・WW集成管柱、RW集成平角とも保合。

・型枠合板(輸入)は強保合。針葉樹構造用合板は薄物保合、厚物は品薄から強含み。